

中富小だより

所沢市立中富小学校 学校通信第9号
令和2年12月1日発行

学校教育目標
「なかよく かしこく たくましく」

三つの約束
○あいさつ
○整理整頓
○時間を守る

1年生	41名	4年生	42名
2年生	42名	5年生	57名
3年生	52名	6年生	60名
児童数	5組 6名		
全校児童数	300名		

学校、家庭、地域が豊かになることを願い 校長 仲田 智宏

11月13日に実施した修学旅行、中禅寺湖は紅葉のシーズンを終えています。いろは坂に至るまでに、美しい紅葉を楽しむことができました。また、いろは坂を上り下りする時に、ところどころ見ることができる紅葉の名残に、日に日に近づく冬を感じました。今日から師走、長かった2学期の締めくくりの月となりました。「マスク・手洗い・換気」の新しい生活様式が、インフルエンザ流行による学級閉鎖も回避してくれることを祈ります。

11月19日に、学校評議員会を開催することができました。地域の方をお招きし、今の中富小を見ていただくことができ、とても嬉しくなりました。限られた時間で、1クラスごとと見ていただく時間は短いものでしたが、子ども達や先生の頑張る姿、展示されている作品についてたくさん褒めていただきました。また、保護者の協力についてもたいへん感心しておられました。それは、5年生と6年生の教室に掲示してある写真付きの調理実習カードが目にとまったからです。ご存知の通り、現在学校では調理に制限をかけています。家庭科の授業は進めていますが、実習は家庭にお願いしているのです。保護者の協力によって実現した学習の成果が、それは美しい写真で表現されています。学校評議員の方々も見入っていました。普段なら家庭科室にある食器に、同じように盛り付けられることが多いでしょうが、今は違います。様々な器に彩りよく愛情たっぷりの盛り付けです。感動している学校評議員の方々に、修学旅行から帰ってき

た夕方のことをお伝えしました。6時を過ぎもう真っ暗な中、バスからの降車場所に迎えにきてくれた保護者のことを。近所の子どもと一緒に連れて帰ってくれた保護者のことを。印象に残る評議員さんのお言葉を紹介します。「この中富小ののどかな、あったかい雰囲気がいい…。」です。

11月24日に、「ほうかごところ」連絡協議会に参加してまいりました。所沢市内11校で実施されている放課後支援事業について、熱中症と感染症対策を中心に報告がありました。私はじっくりと聴き入りましたが、運営するスタッフの想いが伝わってきました。熱中症やコロナに立ち向かうための工夫や努力がにじみ出ています。子どもの居場所づくりという理念を実現する輝く大人の姿に感動しました。市の担当者にお尋ねしたところ、この連絡会もやっと開催できたとのことでした。現在は減少している地域会議ですが、必要なものは開催していただき、学校・家庭・地域がますます豊かになることを願います。

さて、12月に入り寒い日も多くなりますが、子ども達には学習のまとめにしっかり取り組みながら、友情も深め合って欲しいと思います。12月は、年の瀬・クリスマス・大晦日など、子どもも大人も楽しみが沢山あります。新聞では「感染拡大の第三波」という言葉が多くなりましたが、各家庭や個人がそれぞれ意識を高くしていくしかないようです。十分注意しながら有意義に、2学期のゴールを目指したいです。